

ご挨拶



土浦市長
中川 清

新年明けましておめでとうございます。

平成21年の初春を、お健やかに迎えのことが
お喜び申し上げます。

思えば、昭和天皇が崩御された翌日1989年
1月8日に「平成」と改元されてから、満20年を迎
えたこととなります。何事も穏やかに成就される
ことを願いつつ定められた「平成」ではありません
が、その実、まさに内外共に多事多難な20年であ
りました。

また、グローバル社会といわれて10年ほどにな
りますが、今まではせいぜい対岸の火事といった
ものでしたが、昨年の世界金融危機と呼ばれるも
のは、まさにわが国でも大津波に襲われた感じが
いたしました。そのほかにも、地球温暖化、資源
の枯渇、テロ、食糧危機、人口爆発、さらには未
知のウイルスの発生など、本当にグローバルな危
険にさらされております。

一方、人間は、その営みにおいて、食品の毒物
混入、産地偽装などのおろかな行為を繰り返して
おります。

近代から現代において、我々の先人たちは、明
治維新の大改革を成し遂げ、太平洋戦争で完膚な
きまでに傷つきながらも、経済大国日本を造り上
げてくれました。

今、我々は、先人の作られてきた体制、成長から成熟への変化の中で、新たな価値と社会システムを築いていかななくてはならない時期にあると思います。この新しいパラダイムの中で、「日本一住みやすいまち土浦」を市民の皆様との協働によって実現していく所存であります。それには、まず、表面的な豊かさの陰に内存する危機を見失うことなく、真心を込めてチャレンジすることです。

土浦市の成長発展をあらゆる角度から進めるには、かなりの厳しさが要求されます。地方自治を預かる者として組織の総点検が重要であり、過去の良いところは助長し、見直しを図るべきは改善していかなければなりません。予算の完全実行に努めることはもちろん、業務の効率化を図るなど、いわゆる原点に戻ることだと思えます。

昨年12月12日には、その年の世相を一字で表す恒例の漢字が「変」に決まりました。この字が選ばれた背景を思いますとき、誠に含蓄のある文字と感じました。

偶然、米国史上初の黒人大統領オバマ氏の掲げたテーマも「変」、チェンジであります。

私は、21世紀の新たな時代に相応しい土浦を創るため、変革を恐れずチャレンジし続けていく所存であります。市民の皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶いたします。

